

綾瀬市環境配慮事業所取組一覧

種別内容	目標内容	取組内容	内容番号	取組結果
正廃 処棄 物の 排 出 抑 制 リ サ イ ク ル 適	紙の使用量を抑制する。	紙の購入枚数を削減する。	01	紙購入における削減枚数（昨年度比）：枚
	廃棄物の発生を抑える取組を実施する。	再使用又はリサイクルしやすい製品や素材を使用し、廃棄物を削減する。	02	事業系廃棄物の削減量（昨年度比）：kg
	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	紙、プラスチック、トナーカートリッジ、電池等について、分別回収ボックスを適正に配置する等、ごみの分別とリサイクルを進める。	03	事業系廃棄物の資源化率：%
	出荷・販売等に際しての梱包等に配慮する。	簡易包装、容器の回収による再利用を推進する。	04	梱包材購入における削減量（昨年度比） 梱包材名 削減量：枚、kg、袋、個等
	生産工程におけるリサイクルに取り組む。	生産過程で発生するごみのリサイクルを推進する。	05	生産工程で発生する廃棄物の資源化率：%
用サ 料の 環 境 に 少 し の 負 荷 を 課 す の 利 益	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレットペーパー等に再生紙を使用する。	06	再生紙の使用率：%
	その他環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。	エコマーク商品等、環境負荷の少ない製品を優先的に購入する。	07	物品購入におけるエコマーク等商品の購入率：%
の輸 送 に 伴 う 環 境 負 荷	自動車の購入・選択に当たって環境に配慮する。	クリーンエネルギーカーや燃費基準達成車への代替を進める。	08	低公害車の導入 選択 台数：台 割合：%
	自動車の使用に当たって環境へ配慮する。	アイドリング・ストップ等、エコドライブを実践する。	09	エコドライブの実施率：%
	車の排出ガスに含まれる有害物質等の量を削減する。	窒素酸化物等を除去する装置を設置する。	10	除去装置搭載車の導入 選択 台数：台 割合：%
省 資 源 等	雨水等を再使用し環境に配慮する。	雨水貯留槽や雨水利用施設を設置する。	11	雨水利用量：ℓ
	節水等を行い環境に配慮する。	水の使用量を把握し、削減する。	12	水使用における削減量（昨年度比）：ℓ
建 築 物 の 建 築 ・ 解 体 、 開 発 事 業 に 当 た つ て の 環 境 配 慮	新規事業を始める際の環境影響評価・環境配慮を行う。	新規事業を始める際に環境影響評価を行う。	13	実施状況（該当する内容を解答欄に記入） 選択 法律、条例等で義務付けられている範囲で実施 義務付けられている事業ではないが、自主的に実施 その他（内容を解答欄に記入）
	環境整備と周辺の自然環境の保全に配慮する。	敷地内、壁面、屋上等の緑化を実施する。	14	緑地 選択 面積：㎡ 割合：%
	環境負荷の少ない建築材の使用等を推進する。	木材、コンクリート塊、汚泥、残土等の建設副産物の削減、再利用、分別、リサイクルに取り組む。	15	建設副産物 選択 資源化率：% 廃棄物の削減量（昨年度比）：kg
	建設物、構築物の環境への影響を予防するための方策を講じる。	老朽化に関する診断、長寿命化を行う。	16	実施 施設名・使用用途（例：第3工場、事務所等） 内容（例：老朽化に関する診断を実施、長寿命化を実施等）
	施設閉鎖、建築物の解体等の際に環境に配慮する。	施設の閉鎖時に環境配慮を行う。	17	内容
等 の 大 気 汚 染 、 化 学 物 質 汚 濁 等	大気汚染物質排出量を削減する。	大気汚染物質について、法令による基準より厳しい自主管理基準や設備を導入する。	18	内容
	水質汚濁物質排出を削減する。	水質汚濁物質について、法令による基準より厳しい自主管理基準や設備を導入する。	19	内容
	悪臭、騒音、振動等の防止対策を講じる。	悪臭、騒音、振動等に対策を行う。	20	内容
	化学物質の管理を徹底する。	化学物質の自主的な管理を改善する。	21	内容

綾瀬市環境配慮事業所取組一覧

種別内容	目標内容	取組内容	内容番号	取組結果	
製品の開発・設計等における環境配慮	製品（プライベートブランド商品を含む）設計に当たって環境に配慮する。	製品の長寿命化、省エネルギー化、解体しやすい構造にする等、環境に配慮した開発・モデルチェンジを行う。	22	開発・モデルチェンジ 実施状況（例：製品開発時に検討、開発後 年おきに実施） 内容（例： 年の長寿命化、 kW消費電力を削減等）	
		再生資源を使用した製品の製造を行う。	23	再生資源を使用 方針（例：環境に配慮する観点から積極的に実施、コスト削減になる部分で実施等） 使用する再生資源名	
	製品の出荷、販売後における環境負荷を削減する。	出荷、販売後の製品の修理、引き取りを行う。	24	実施状況（例： 件の実績、実績はないが受付はしている等）	
	製品（プライベートブランド商品を含む）に係る製品アセスメント（評価）等を実施する。	製品に対し環境評価を行う。	25	実施状況（該当する内容を解答欄に記入） 選択 法律、条例等で義務付けられている範囲で実施 義務付けられている事業ではないが、自主的に実施 その他（内容を解答欄に記入）	
		外部から製品の環境負荷に関するデータの提供依頼があったときに協力する。		26	実施 件数：件 内容
	環境保全型商品等の販売、消費者に対する情報提供を行う。	環境に配慮した製品を表示し、販売する。	27	実施 選択 件数：件 割合：%	
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	28	電気使用における削減量（昨年度比）：kWh
事務機器を適正管理する。		29		都市ガス使用における削減量（昨年度比）：m ³	
エレベーターを適正運転する。		30		LPGガス使用における削減量（昨年度比）：m ³	
自動販売機を適正利用する。		31		天然ガス使用における削減量（昨年度比）：m ³	
冷暖房設備等を適正管理する。		32		灯油使用における削減量（昨年度比）：ℓ	
空調設備を適正管理する。		33		重油使用における削減量（昨年度比）：ℓ	
給湯設備を適正利用する。		34		ガソリン使用における削減量（昨年度比）：ℓ	
ボイラーを適正利用する。		35		軽油使用における削減量（昨年度比）：ℓ	
自動車の適正使用及び抑制、又は低公害化する。		36		その他エネルギー使用における削減量（昨年度比） 使用エネルギー名 削減量	
省エネ設備等を採用又は改修する。		省エネ診断等を受ける。		37	実施した診断名を記入（例：省エネ診断、節電診断等）
		環境マネジメントシステムを導入する。		38	導入システム名を記入（例：ISO14001、エコアクション2.1等）
		太陽光発電設備を活用する。		39	最大出力：kW
省エネ対応製品等を購入又は更新する。		ガスコージェネレーションや燃料電池コージェネレーション		40	設備名 発電出力：kW
自然エネルギーを活用又は新システム等を導入する。		その他環境配慮型発電設備等を活用する。		41	設備名及び発電出力・蓄電容量等
		ビルのエネルギー管理システムを導入する。		42	件数：件
特定フロンを削減又は温室効果ガスを排出抑制する。	業務用機器の冷媒を適正に管理する。	43	充填・回収したフロン 件数：件 量：kg		